

模試について



住居タイプによって、それぞれ。

# 住まい の備え



全6問 | 解答目安 約5分

スタート



＼防災リーダーのランクを上げよう！／

逃げる  
ための備え

住まい  
の備え

発災時  
の備え

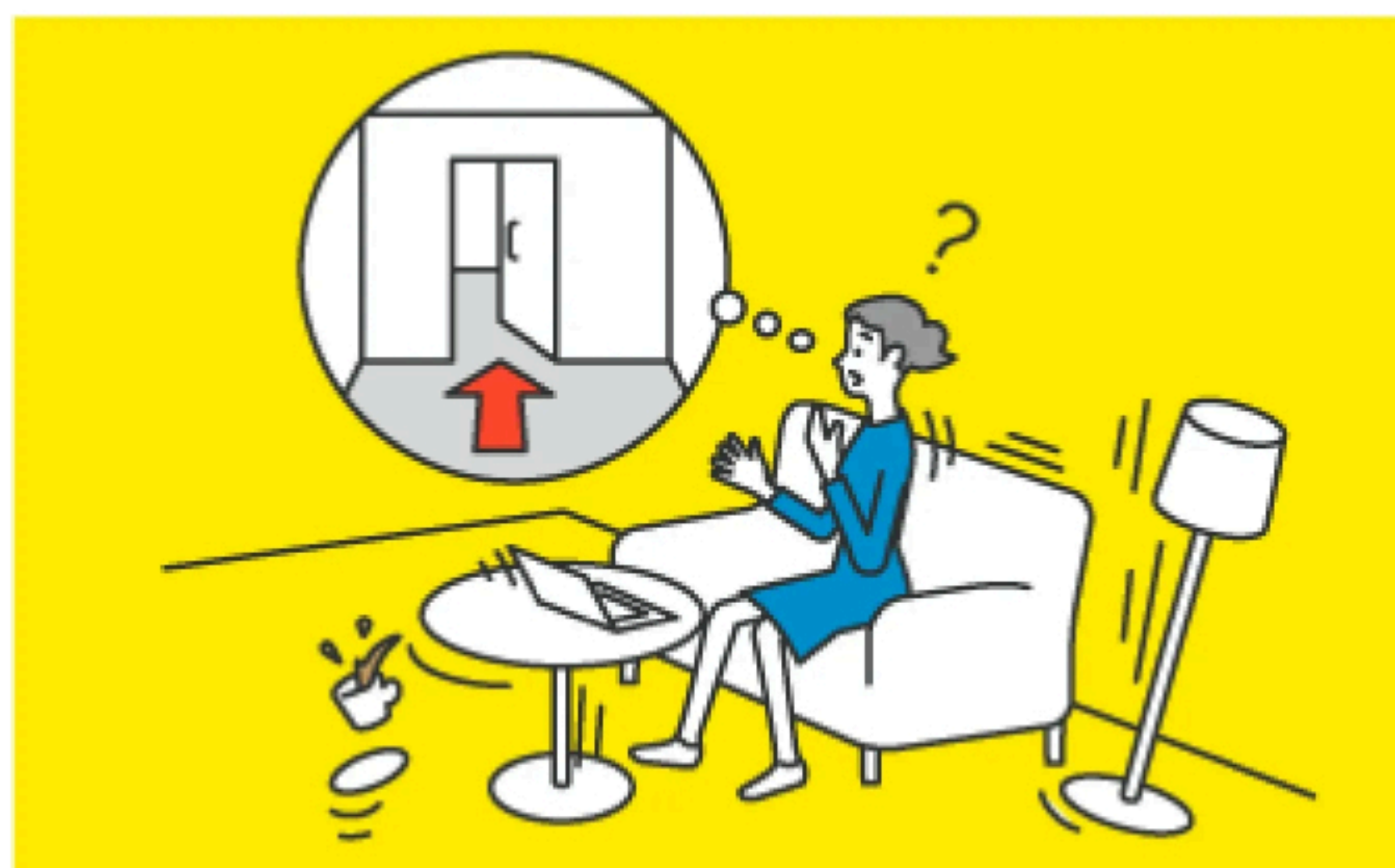


主催：東京都総務局総合防災部

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

# Q1

「地震の時にはドアを開ける！」と聞きました。建物に閉じ込められない様に、大地震の際にはまずドアを開けに行くべきでしょうか。



1

ドア開けが最優先、這ってでもドアを開けに行くべき

2

小さい揺れなら対応せず、大きな揺れの時ほどドアを開けるべき

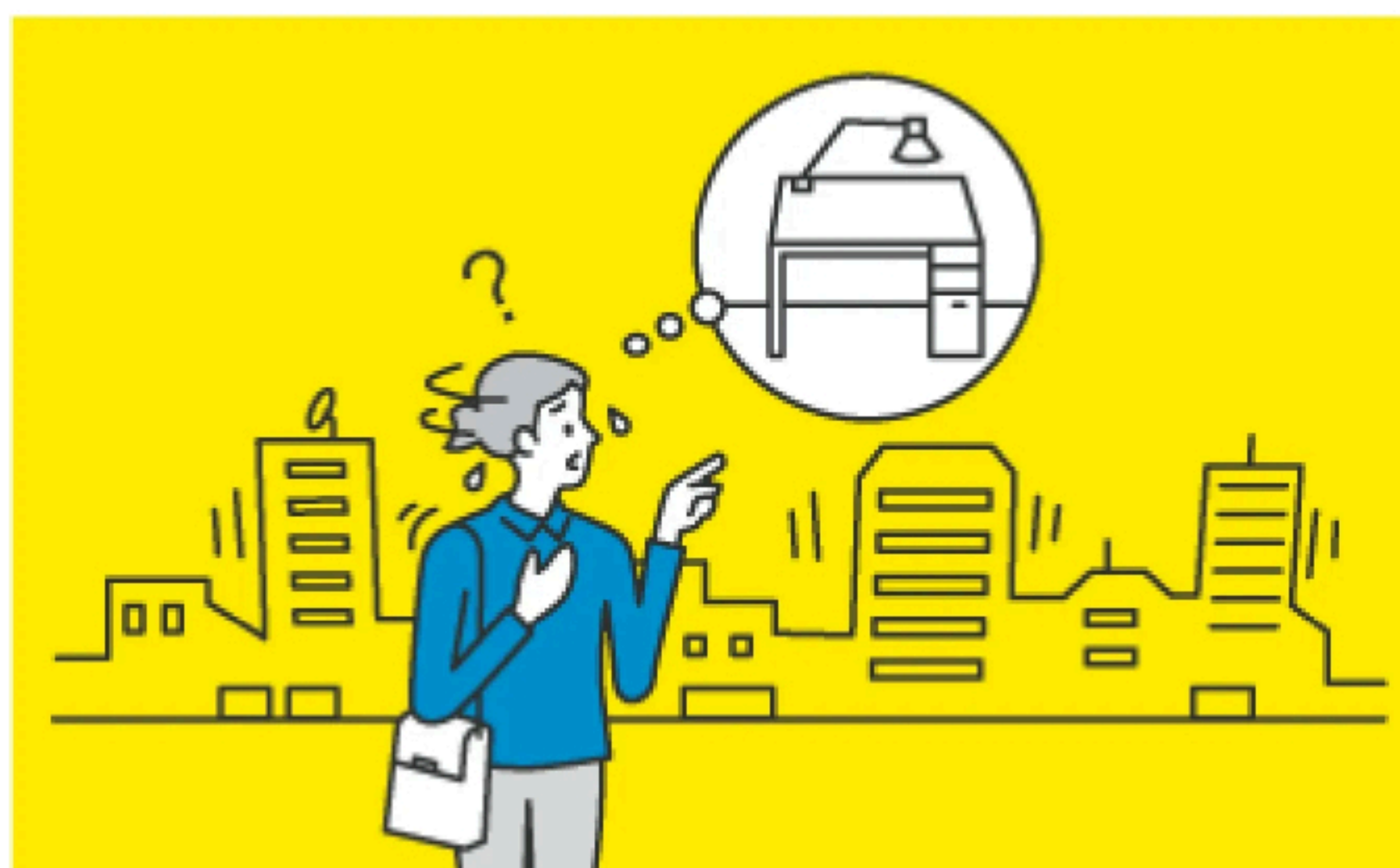
3

身動きは危険、ドア開けにこだわらずまずは身の安全確保をすべき



## Q2

「地震が起きたら机に潜る！」と聞きました。もし屋外で大地震に見舞われた場合も、机がある屋内へ移動して机に潜るべきでしょうか。



1

目の前に机がなければ、その場で身を伏せた方がいい

2

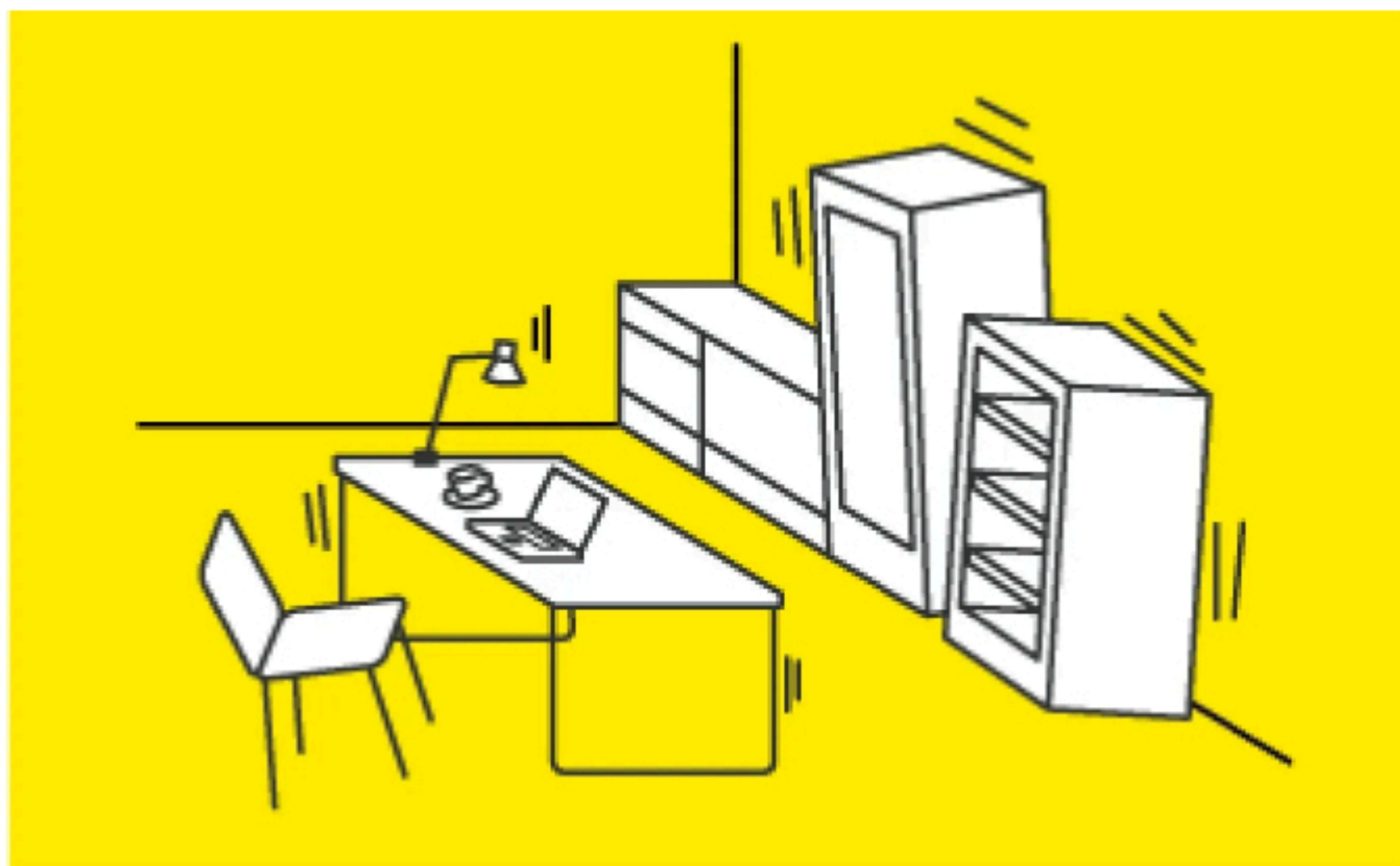
落下物を防ぐには机の下が一番、屋内の机を目指すべき

3

屋外に机はないので、自動車の下に潜って落下物を防ぐべき

## Q3

地震の揺れ対策として、家具や家電を固定することが重要です。では、次の固定方法として「一番頑丈」になる方法は次のうちどれでしょうか。



1 | 突っ張り棒による固定

2 | 金具とネジを使った固定

3 | 粘着シートを使った固定

## Q4

火災の早期察知に重要な「住宅用火災警報器」ですが、電池の寿命は10年です。電池寿命を迎えたらどのように対応するべきでしょうか。



1

購入店に送って電池を替えてもらう

2

自分で電池を買ってきて交換できる

3

電池が切れたら本体ごと交換する



## Q5

大地震で火災が発生した場合は「初期消火」が重要です。建物内にある「消火器」と「屋内消火栓」どちらを使用して初期消火すべきでしょうか。



1

「屋内消火栓」は消防用なので「消火器」を使用する

2

「消火器」では能力が足りないため「屋内消火栓」を使用する

3

「消火器」と「屋内消火栓」両方を活用してかまわない

## Q6

震度6強以上の大規模地震でも倒壊等の被害が生じないように、構造の規定を定めている法律は次のうちどれでしょうか。



1 災害対策基本法

2 耐震改修促進法

3 建築基準法